



2014

復活第63回（通算83回）

H. I. 盃選手権試合

全三菱庭球大会

平成26年10月24日・25日・26日

三菱東京UFJ銀行	武蔵野コート
東京海上日動	多摩コート
日本郵船	飛田給コート

三菱庭球同好会

2014年 女子シングルの創設と大会運営について

三菱庭球同好会は、昨年 3 月から、全三菱庭球大会をより充実したものに発展すべく、関西、東海、九州各地区関係者を交えて検討を行ってまいりました。その結果、まず、本年度は女子シングルの創設することにいたしました。また、この過程において大会運営の諸課題についての意見が出されました。これらについては、引き続き検討を行い、翌年以降に改善を図ってまいり所存です。

皆様におかれましては、引き続き本大会へのご理解とご支援のほどを何卒よろしくお願い申し上げます。

1. 女子シングルの創設

全三菱庭球大会は、1916年の関東関西戦を起源に、その後は、時代の変化に柔軟に対応し、種目の充実を図りながら今日に至っています。1923 年に HI 盃選手権(男子シングル)、1972 年に女子ダブルス、2006 年には男子ダブルスが創設されました。

残る女子シングルについては、“女子テニス部員の減少、地区大会の選手確保問題”等の意見がありました。テニス界の潮流(男女種目の機会均等が浸透)と時代を先取りする大会精神・伝統の下、未来の隆盛を視野に入れて、まず第一歩を踏み出すことに致しました。

カップは、岩崎寛彌様ご令室の岩崎美智子様からご寄贈を賜りました。

選手の皆さんの熱戦により、今後の継続と発展を期待します。

2. 本大会の諸課題と今後の改善方針

(1) 関西・中京・九州の参加者減

- ・女子ダブルスは、各地区共に予選参加者の確保難(遠征費と試合数、関東との実力差等)。
- ・東西対抗は、西軍の確保難(同上理由)と勝敗意識の低下(コアの40, 50歳代が推薦参加)。

(2) HI 盃の精神と伝統の継承問題

- ・彦彌太様からのカップご寄贈の思い、Horizontal Integration の精神と伝統が十分に浸透していない嫌いがあるとともに、一方で、HI 盃は敷居が高いとの声もある。

これらについては、昨年来の活動継続(各地区巡回練習会、予選後の懇親会、歴史講演等)と今後の大会記念行事(2016 年に関東関西戦から 100 周年)等を通じて、参加意識の醸成と大会運営の改善を図っていくことと致します。

3. 2014年大会の運営面でのお願い

上記改善活動の一環として、本年の大会から以下の点を変更することに致しましたので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

- (1) 予算面、昨今の他テニス大会の傾向から、記念品は取り止めと致します。大会の記念という観点から、今後は大会案内の充実を図ってまいります(昨年からのHI盃歴史エピソード、来年からは優勝者の記念写真等を掲載)。
- (2) 上記の費用節減分については、一般男女地区参加者の負担軽減等の補助金支給に充当させていただきます。

その他、東西対抗、ベテラン大会(140歳、120歳)の活性化、地区活動への支援、予算配分(大会参加費の見直し、当日昼食の要否)等については、来年以降も継続課題といたします。

以上

目 次

H. I. 盃選手権試合と全三菱庭球大会について	2
H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表	3
H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項	7
大会次第	9
諸注意事項	10
H. I. 盃選手権試合組合せ	11
女子シングルストーナメント組合せ	11
男子ダブルストーナメント組合せ	12
女子ダブルストーナメント組合せ	13
140オトーナメント組合せ	14
120オトーナメント組合せ	15
東西対抗試合組合せ	16
時間およびコート時間割	17
大会会場・懇親会会場案内図	19
H. I. 盃 NAVI	21

開会式へ参加のお願い

第3日(10/26)銀行コートに試合
予定の選手は、8:30から銀行
コートで開会式を行いますので
原則、必ずご参集願います。

大会プログラム

大会当日は配布しませんので、
ご持参ください。

H. I. 盃選手権試合と全三菱庭球大会について

H. I. 盃選手権試合の歴史は、大正11年にまで遡ります。この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦彌太様より三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、イニシャルを戴き、「H. I. ロンドンカップ」と名付けられました。翌大正12年、このH. I. 盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合（H. I. 盃選手権試合）が開催されました。その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で83回を数えるに至っています。

これに先立ち、関東関西戦が大正5年から毎年開催されており、昭和27年の復活第1回H. I. 盃選手権試合／東西対抗戦（戦争の為昭和18年から中断）に際しては、新たに「100オトーナメント（45才以上ダブルス）」（以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」）が加えられ、また、昭和47年には岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして昭和58年より新たに65才以上のペアーによる「130オトーナメント」（平成25年から「140オトーナメント」に変更）が設けられ、岩崎寛彌様からカップが寄贈されました。平成18年より、さらに「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。本年度は岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス」が新たに設けられました。

これらのH. I. 盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が、「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ31社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。



第1回 H. I. 盃（大正12年 東京・染井コート）

H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

I. 復活前

回数	年 度	開催地	委員長	H. I. 盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神 戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東 京			2	記録なし
	1918 大正7	神 戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東 京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東 京	河手捨二 (商事取締役)	岩永侃爾 (門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神 戸	山口泉吉 (重工神戸造船所長)	青木岩雄 (東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山正男 (名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	岩永侃爾 (東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	青木岩雄 (東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	神田道朝 (関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神 戸	山室宗文 (銀行常務取締役)	青木岩雄 (関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	牧野 元 (関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元 (関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	志村彦七 (中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神 戸	田中金之助 (倉庫取締役)	後藤 長 (中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長 (中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東 京	佐藤梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長 (中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神 戸	玉井喬介 (重工社長)	石井小一郎 (関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			支那事変のため中止	22	
16	1938 昭和13	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村彦七 (中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村彦七 (中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野文照 (関東・鋼材) <ダブルス>熊谷一彌・関沢房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑 (関西・電機) <ダブルス>田村亮・扇山忠男	27	記録なし

II. 復活後

回数	年 度	開催地	委員長	H. I. 盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東 京	石黒俊夫 (本社精算人)	藤倉五郎 (金商)	100才→	岩崎彦彌太・ 山岸成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神 戸	藤井深造 (新重工社長)	藤倉五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉普一 (電機社長)	藤倉五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東 京	石黒俊夫 (地所社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大 阪	古村誠一 (金属鉱業社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東 京	高垣勝次郎 (商事社長)	藤倉五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大 阪	伊藤保次郎 (鉱業社長)	寺岡健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鉱業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東 京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東 京	桜井俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東 京	柴田周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大 阪	浜川友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東 京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東 京	藤岡信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東 京	千頭暎臣 (信託社長)	藤井道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大 阪	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東 京	河野文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東 京	野村義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (セント・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東 京	有吉義彌 (郵船社長)	藤井道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東 京	牧田与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤 ・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13分
20	1971 昭和46	東 京	田実 涉 (銀行会長)	大日方昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東 京	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東 京	中田乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東 京	古賀繁一 (重工会長)	宮川善文 (大日)		雨天中止	小島・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東 京	古賀繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)		田中・笈 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東 京	古賀繁一 (重工会長)	有沢三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33
29	1980 昭和55	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		吉岡・佐久間 (キャタ・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年度	委員長	H. I. 盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦	
30	1981 昭和56	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		櫛原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)		関東 49-33	
31	1982 昭和57	田部文一郎 (商工会長)	武田 彰 (商事)	130才↓	中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 40-37, 5分	
32	1983 昭和58	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	安川・吉岡 (キャタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 33-27, 22分	
33	1984 昭和59	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関東 47-34, 1分	
34	1985 昭和60	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)		関東 48-34	
35	1986 昭和61	田部文一郎 (商工会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関西 46-38	
36	1987 昭和62	鈴木永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 46-37	
37	1988 昭和63	鈴木永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止						
38	1989 平成元	鈴木永二 (化成会長)	岩原慎二 (化成)	川崎・寛 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)		関東 45-39	
39	1990 平成2	鈴木永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイヨン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)		関東 50-31, 3分	
40	1991 平成3	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・櫛原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 28-21, 35分	
41	1992 平成4	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 49-29, 6分	
42	1993 平成5	飯田庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)		関東 52-32	
43	1994 平成6	飯田庸太郎 (重工会長)	田村太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイヨン)	前田・早川 (化学)		関東 38-28, 18分	
44	1995 平成7	飯田庸太郎 (重工相談役)	杉本長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)		雨天中止	
45	1996 平成8	飯田庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)		関東 47-37	
46	1997 平成9	藤村正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 (明生)		雨天中止	
47	1998 平成10	藤村正哉 (マテリアル会長)	古村賢紀 (電機)	川崎・櫛原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)		関東 52-32	
48	1999 平成11	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 49-34, 1分	
49	2000 平成12	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 42-41, 1分	
50	2001 平成13	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 47-27	
51	2002 平成14	藤村正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 41-31	
52	2003 平成15	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 26-20	
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)		雨天中止	
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)		関東 28-23	
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9	
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レイヨン)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6	
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11	
58	2009 平成21	井手明彦 (マテリアル社長)	藤田瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12	

回数	年 度	委員長	H. I. 盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦
59	2010 平成22	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)	近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12
60	2011 平成23	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)	高橋・金子 (硝子)	後藤・古屋 (電機)	古賀・松重 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関東 16- 9
61	2012 平成24	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)	東・淀川 (重工)	伊藤・矢野 (化学)	五十嵐・鍋谷 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関西 13-12
62	2013 平成25	井手明彦 (マテリアル会長)	福田健司 (電機)	140才↓ 東・田中 (重工)	赤沼・本間 (硝子)	五十嵐・鍋谷 (生命)	廣田・横山 (電機)	関西 11- 8

注. 上表大会の開催地はすべて東京

H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社

キリンホールディングス(株)、日本郵船(株)

三菱自動車工業(株)、三菱倉庫(株)、三菱ふそうトラック・バス(株)

1. 大会日程

日 程	種 目 等	会 場	集 合 時 間 等
第 1 日 10月24日(金)	140オトーナメント1～2回戦 120オトーナメント1回戦	海上 多摩コート	試合開始30分前
第 2 日 10月25日(土)	H. I. 盃、女子シングルス 1回戦 男子ダブルスブロック別リーグ戦 女子ダブルスブロック別リーグ戦 140オトーナメント3～4回戦 120オトーナメント2～3回戦	銀行 武蔵野コート	試合開始30分前
	男子ダブルスブロック別リーグ戦	海上 多摩コート	
第 3 日 10月26日(日)	開会式	銀行 武蔵野コート	8 : 30からの 開会式に原則必ず ご参加ください * 試合受付は開始 30分前にお願 い します
	H. I. 盃、女子シングルス準決勝・決勝 戦 男子ダブルス決勝トーナメント 女子ダブルス決勝トーナメント 140オトーナメント準決勝・決勝戦 120オトーナメント準決勝・決勝戦 東西対抗試合・特別試合		
	東西対抗試合		
	懇親会	吉祥寺第一ホテル	17 : 30開始

コート割、開始時間、会場案内はP17～P20をご参照ください。

2. 役 員

委 員 長： 三菱庭球同好会会長 井手明彦 (三菱マテリアル)

副 委 員 長： 畔柳信雄 (三菱東京UFJ銀行) 小林弘武 (キリンホールディングス)

宮原耕治 (日本郵船) 黒井義博 (三菱自動車)

法貴正人 (三菱倉庫) 鈴木孝男 (三菱ふそうトラック・バス)

同好会相談役： 岸 暁 (三菱東京UFJ銀行)

審 判 長： 藤井道雄 (三菱電機)

副 審 判 長： 武田 彰 (三菱商事)

H. I. 盃委員： 石井 敦 (東京海上日動) 松岡信幸 (三菱電機)

荒谷雅夫 (明治安田生命) 濱野智之 (三菱東京UFJ銀行)

大地重雄 (三菱化学) 木村博光 (三菱ふそうトラック・バス)

牧村祐一 (三菱重工業) 島村健司 (三菱マテリアル)

佐久間 浩 (三菱商事)

H. I. 盃地区委員： [関東] 渡辺 啓 (三菱化学) [中京] 佐々木 史朗 (三菱電機)

[関西] 田中 顕一郎 (三菱電機) [九州] 横濱 克彦 (三菱重工業)

3. 参 加 会 社

旭硝子(株)	三菱アルミニウム(株)	三菱商事(株)	三菱電線工業(株)
キリンホールディングス(株)	三菱化学(株)	三菱商事RtMジャパン(株)	(株)三菱東京UFJ銀行
JXホールディングス(株)	三菱化工機(株)	三菱伸銅(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)
東京海上日動火災保険(株)	三菱ガス化学(株)	三菱製鋼(株)	三菱マテリアル(株)
(株)ニコン	三菱地所(株)	三菱製紙(株)	三菱レイヨン(株)
日本郵船(株)	三菱自動車工業(株)	三菱倉庫(株)	三菱UFJ証券ホールディングス(株)
(株)ピーエス三菱	三菱重工業(株)	(株)三菱総合研究所	三菱UFJ信託銀行(株)
明治安田生命保険(相)	三菱樹脂(株)	三菱電機(株)	

4. 試 合 方 法

〔使用ボール：ダンロップフォート〕

種 目	資 格 等	方 法
(1) H. I. 盃 (男子シングルストーナメント)	前年優勝者、地区代表 (関東3、関西3、中京・九州各1)	3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(2) 女子シングルス トーナメント	地区代表 (関東4、関西2、中京・九州各1)	同 上
(3) 男子ダブルス	地区代表24組によるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント (関東9、関西9、中京4、九州2)	予選、SF8ゲームマッチ (8ゲームオール、7ポイントタイブレーク) 決勝戦、3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)
(4) 女子ダブルス	地区代表8組によるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント (関東5、関西2、中京1)	予選、8ゲームマッチ (8ゲームオール、7ポイントタイブレーク) SF、決勝戦、3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)
(5) 140才トーナメント	本年、満68才以上で合計140才以上のペアによる男子ダブルストーナメント	1セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(6) 120才トーナメント	本年、満58才以上で合計120才以上のペアによる男子ダブルストーナメント	同 上
(7) 東西対抗試合	東軍(関東以東)・西軍(中京以西) 男子各16組、女子各3組の対抗戦。	3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)
(8) 特別試合	H. I. 盃選手権出場選手によるダブルスおよび女子シングルス出場選手によるコンソレーション	2セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)

〔懇親試合〕 1セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)

男子ダブルス予選敗者、140才、120才トーナメントの10月25日までの敗者、その他ご希望の方は、懇親試合に参加できますので、10月25日に各コートの大会運営本部まで申し出てください。但し、コート事情によりご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください。

5. 雨天時の対応

- (1) 原則、各社単位での確認をお願いします。
- (2) 各日とも、開始時間の1時間前から各コートに大会幹事がおりますので各社連絡員から問合せください。選手から各社連絡員に連絡がつかない場合は、直接コートに問合せいただいても結構です。
- (3) 10月26日(日)が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ時間を早めて16:00から開催します。吉祥寺第一ホテル(TEL 0422-21-4411)にご集合ください。

大会次第 10月26日(日)

1. 開会式(三菱東京UFJ銀行武蔵野コート) (8:30)
 - (1) 集合
 - (2) 挨拶 井手大会委員長
 - (3) 優勝盃・優勝旗返還 井手大会委員長
 - (4) 諸注意 藤井審判長

2. 試合開始(コート時間割をご参照) (9:00)

3. 試合終了 (16:00)

4. 閉会式及び懇親会(吉祥寺第一ホテル 8階天平の間) (17:30)
 - (1) 開会挨拶 井手大会委員長
 - (2) 乾杯 鈴木大会副委員長
 - (3) 優勝盃・優勝旗・賞品授与
および優勝者挨拶
 - ① H. I. 盃優勝者挨拶
 - ② 女子シングルス優勝者挨拶
 - ③ 男子ダブルス優勝者挨拶
 - ④ 女子ダブルス優勝者挨拶
 - ⑤ 140オトーナメント優勝者挨拶
 - ⑥ 120オトーナメント優勝者挨拶
 - ⑦ 東西対抗優勝旗授与
 - (4) 最高年令出場者挨拶
 - (5) 閉会の辞 宮原大会副委員長
 - (6) 万才三唱 武田副審判長

5. 閉会(解散) (19:00)

6. 記念撮影
懇親会終了後、H. I. 盃、女子シングルスの出場者、男子ダブルストーナメント、女子ダブルストーナメント、140オトーナメント・120オトーナメントの優勝・準優勝者、東西対抗試合主将並びに大会役員の方々の記念撮影を行ないます。

諸 注 意 事 項

1. コートへのアクセス

- (1) 各コートへの交通手段と連絡先は、P19, 20をご参照ください。
- (2) 第1日・2日は専用バスの配車はいたしませんので、各自お越してください。
- (3) 第3日（銀行コート、郵船コート）は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
- (4) マイカーでのご来場は厳禁です（第一日の海上コートのみ可です）。

2. 更 衣 室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用ができませんのでお荷物は各自で管理してください。

3. 試 合 進 行 等

- (1) 試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますので、予め試合進行掲示板にてご確認ください。近隣対策上、試合前の選手の呼び出し（場内アナウンス）は致しませんのでご注意ください。なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。
- (2) 練習時間は、試合進行上、H. I . 盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内と致しますので厳守願います。

4. 審 判

- (1) H. I . 盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140才、120才トーナメントの決勝はコールアンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
- (2) 試合結果は、勝者がスコアカードに記入の上ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

5. 昼 食

- (1) 第1日は、昼食の準備はありません。各自ご準備ください。
- (2) 第2日、第3日の両日は、選手及び大会運営役員に準備します。各コートに設置している弁当お渡し所から適宜お持ちください。ジュースの空カン・ゴミは所定の場所にお捨ててください。

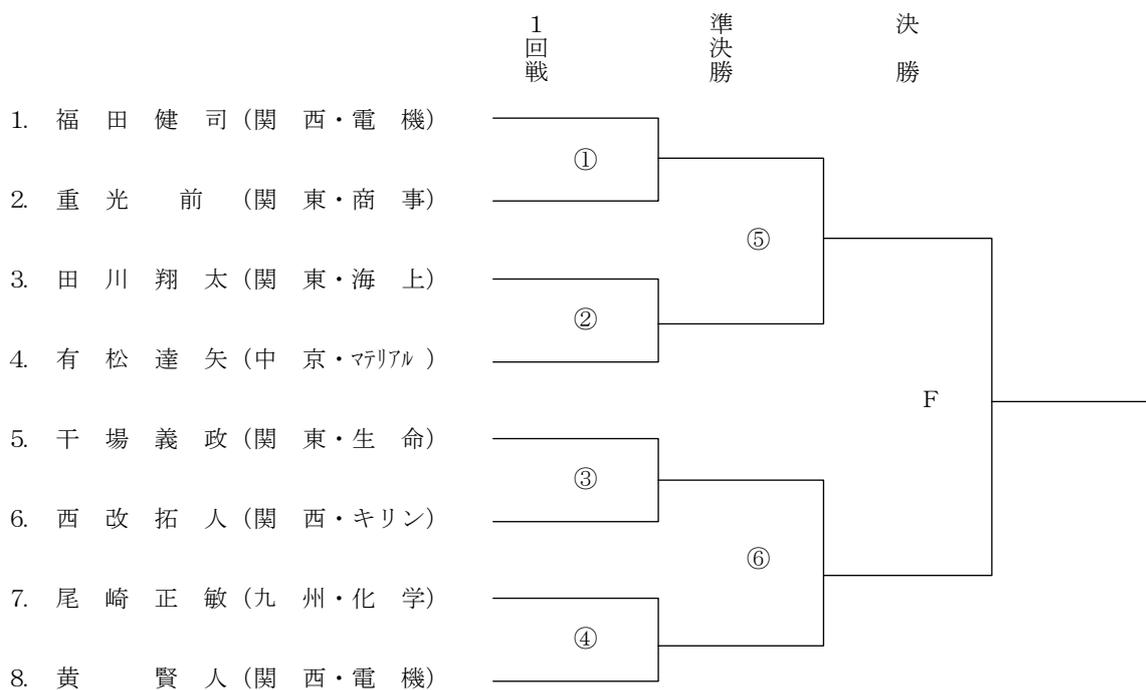
6. D E F

- (1) 所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
- (2) やむを得ずDEFの場合は速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

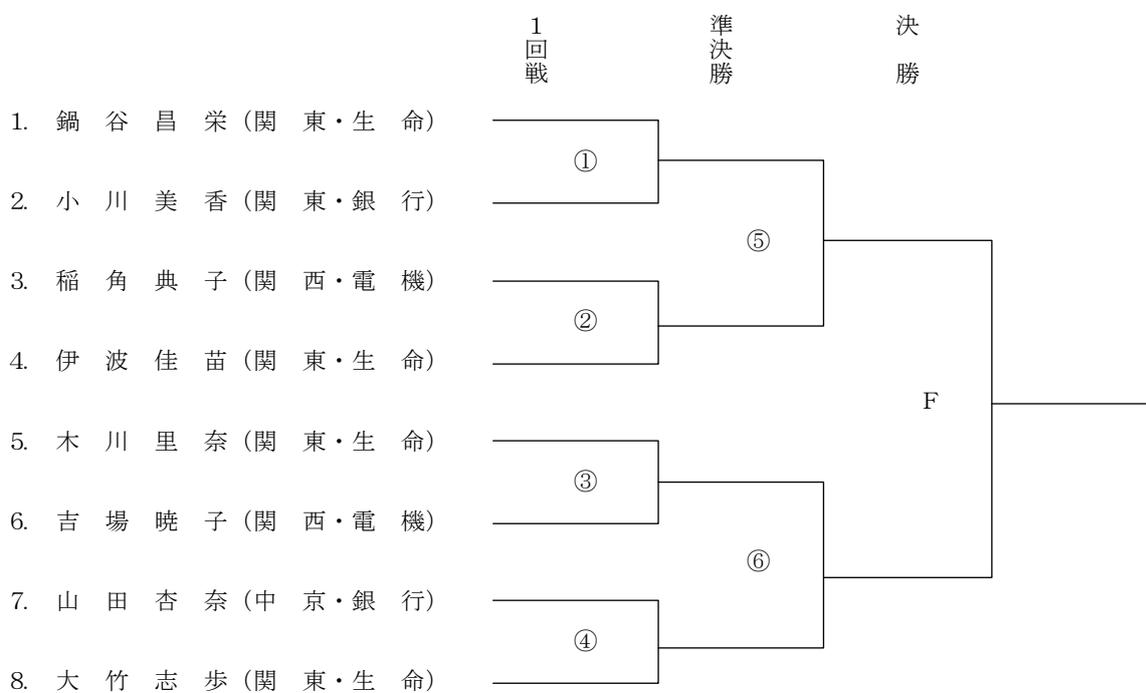
7. 参 加 費

関東地区の参加者は3,000円、関西地区は1,000円、140才トーナメント、120才トーナメントは3,000円を参加費として後日徴収致します。尚、会場への交通・宿舎などについては、各自にて手配願います。

H. I. 盃 (男子シングルス)



女 子 シ ン グ ル ス

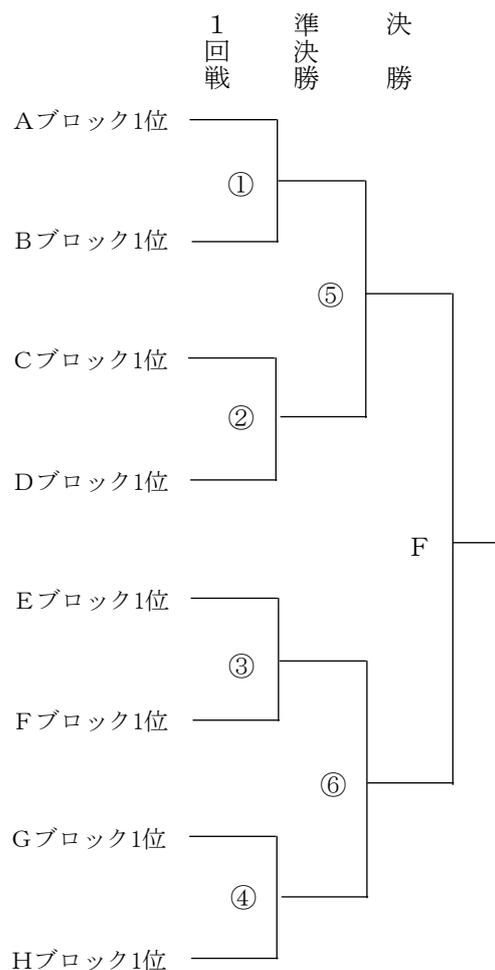


男子ダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	二村・野原 (関東・生命)
	2	上本・長谷川 (関東・海上)
	3	西・赤井 (九州・マテリアル)
Bブロック	1	加藤・鈴木 (関東・マテリアル)
	2	重田・金村 (関西・重工)
	3	本倉・田川 (関西・電機)
Cブロック	1	岡田・廣田 (関東・電機)
	2	垂水・巨島 (中京・重工)
	3	橋本・八島 (関西・銀行)
Dブロック	1	古村・中原 (関東・商事)
	2	岡田・白村 (中京・電機)
	3	安田・富田 (関西・樹脂、化学)
Eブロック	1	神谷・星野 (関東・キリン)
	2	笹谷・山際 (関西・電機)
	3	多田・豊城 (関西・化学)
Fブロック	1	橋場・佐久間 (関東・銀行)
	2	下山・黒田 (中京・電機)
	3	小川・森永 (関西・重工)
Gブロック	1	栗山・野川 (中京・マテリアル)
	2	阿部・松本 (関東・銀行)
	3	豆谷・有村 (関西・電機)
Hブロック	1	黒崎・牟田 (関東・商事)
	2	東・占部 (関西・重工)
	3	大出・吉田 (九州・電機、重工)

決勝トーナメント



ブロック別リーグ戦の1試合目は、各ブロックの1-2が対戦。これを時間割では①と表示します。2試合目は1-3の対戦（時間割の表示は②）、3試合目は2-3の対戦（時間割の表示は③）です。

【ブロック別リーグ戦 「表示例」】

		時間割の表示
1試合目	A 1 - A 2	A ①
2試合目	A 1 - A 3	A ②
3試合目	A 2 - A 3	A ③

男子ダブルスブロック内順位について

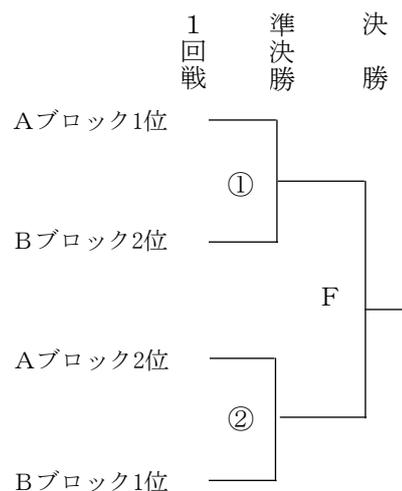
- ① ブロックリーグ戦において、最も勝率の高い組を1位とする。
 - ② 3組が1勝1敗で並んだ場合は、取得ゲーム率（取得ゲーム数／全得失ゲーム数）をもってブロック1位を決定する。
 - ③ 3組とも取得ゲーム率同率で並んだ場合は、大会運営本部にて順位決定方法を協議する。
- ※ 取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。（例：A対Bの試合で、Aから3-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが8-5で勝利したとして計算する。）

女子ダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	奥間・関 (関東・銀行)
	2	牧野・三宅 (中京・電機、重工)
	3	児玉・谷川 (関東・銀行)
	4	渡辺・野崎 (関西・電機)
Bブロック	1	秋元・横本 (関西・銀行)
	2	松田・泉水 (関東・生命)
	3	柏木・辻本 (関東・銀行)
	4	清水・宇野 (関東・銀行)

決勝トーナメント



【ブロック別リーグ戦 「表示例」】

		時間割の表示
1 試合目	A 1 - A 4	A ①
	A 2 - A 3	A ②
2 試合目	A 1 - A 3	A ③
	A 2 - A 4	A ④
3 試合目	A 1 - A 2	A ⑤
	A 3 - A 4	A ⑥

ブロック別リーグ戦の1試合目は、各ブロックの1-4および2-3が対戦。

これを時間割ではそれぞれ①、②と表示します。

2試合目は1-3の対戦（時間割の表示は③）と2-4の対戦（時間割の表示は④），

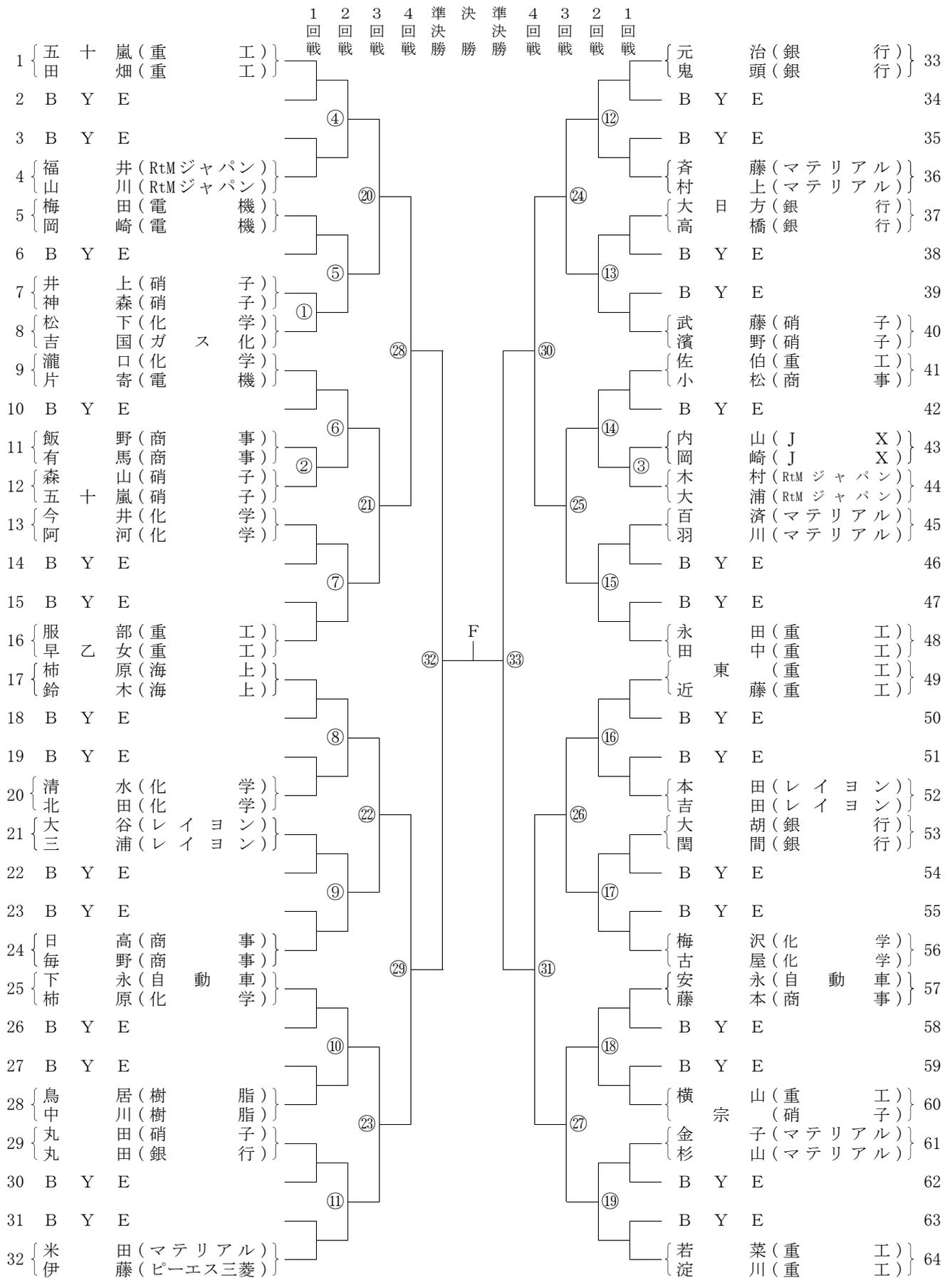
3試合目は1-2の対戦（時間割の表示は⑤）と3-4の対戦（時間割の表示は⑥）です。

女子ダブルスブロック内順位について

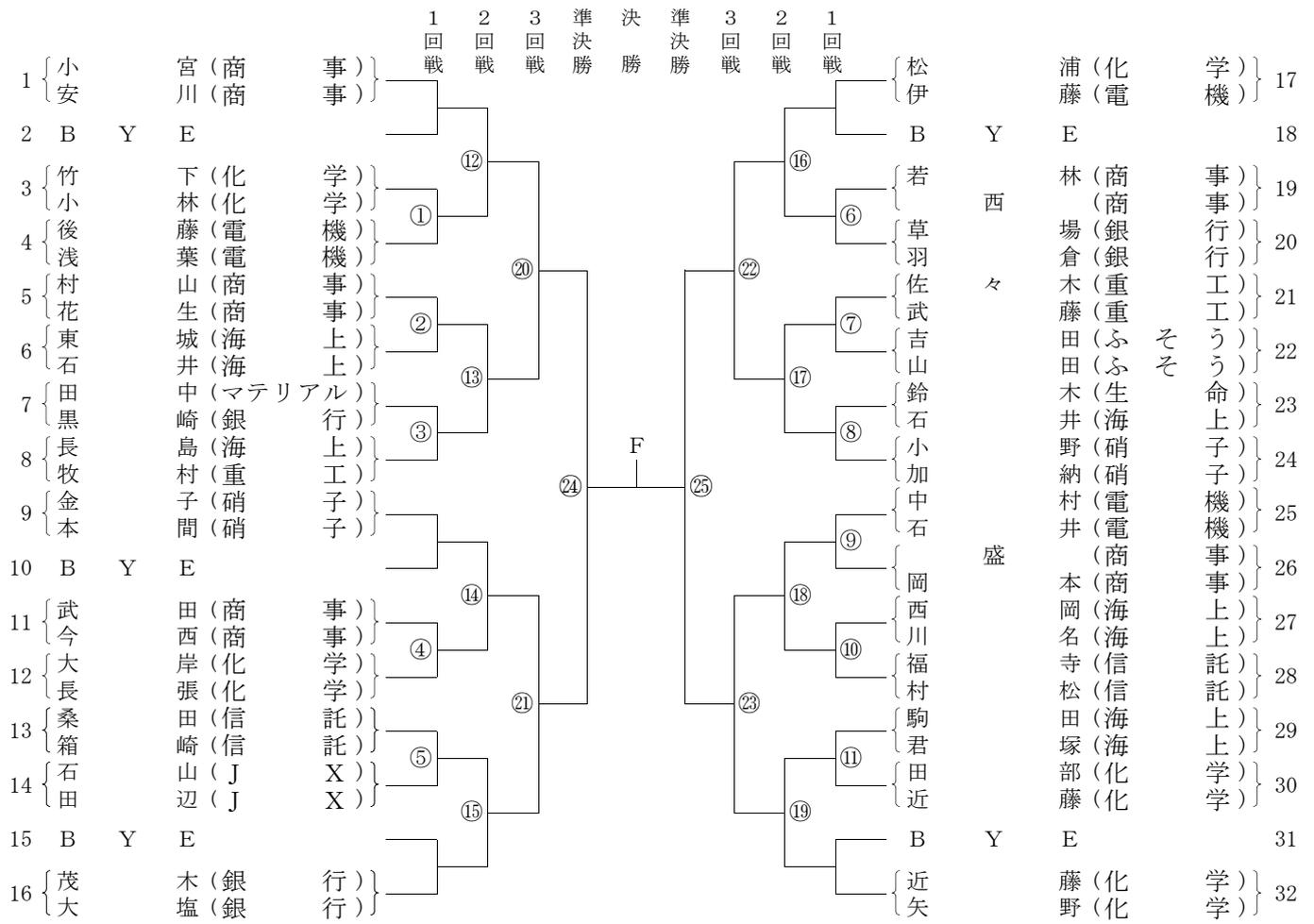
- ① ブロックリーグ戦において、勝率の高い組を上位とする。
- ② 2組が勝率で並んだ場合は、直接対決の勝利チームを上位とする。
- ③ 3組が勝率で並んだ場合は、取得ゲーム率（取得ゲーム数／全得失ゲーム数）をもって上位を決定する
- ④ 取得ゲーム率同率で並んだ場合は、大会運営本部にて順位決定方法を協議する。

※ 取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。（例：A対Bの試合で、Aから3-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが8-5で勝利したとして計算する。）

140 オトーナメント



120 オトーナメント



東西対抗試合

<男子ダブルス>

	東 軍		西 軍
1.	{ 大地 (化学) }	—	{ 岡本 (J X) }
	{ 渡辺 (化学) }		{ 片山 (J X) }
2.	{ 加藤 (商事) }	—	{ 小川 (重工) }
	{ 宮崎 (商事) }		{ 今井 (重工) }
3.	{ 塚原 (銀行) }	—	{ 田中 (電機) }
	{ 塚本 (銀行) }		{ 岩田 (電機) }
4.	{ 木村 (電機) }	—	{ 八木 (レイヨン) }
	{ 遠藤 (電機) }		{ 井上 (レイヨン) }
5.	{ 佐久間 (商事) }	—	{ 瀧沢 (電機) }
	{ 柏木 (商事) }		{ 天清 (電機) }
6.	{ 高橋 (生命) }	—	{ 森田 (自動車) }
	{ 引村 (生命) }		{ 越野 (自動車) }
7.	{ 濱野 (銀行) }	—	{ 泉水 (化学) }
	{ 南 (銀行) }		{ 松下 (化学) }
8.	{ 佐藤 (地所) }	—	{ 山田 (化学) }
	{ 伊藤 (地所) }		{ 藤田 (化学) }
9.	{ 長尾 (重工) }	—	{ 榎原 (電機) }
	{ 南川 (重工) }		{ 沼 (電機) }
10.	{ 小泉 (J X) }	—	{ 西浦 (重工) }
	{ 杉浦 (J X) }		{ 五嶋 (重工) }
11.	{ 木村 (ふそう) }	—	{ 小山 (電機) }
	{ 武井 (ふそう) }		{ 佐藤 (電機) }
12.	{ 荒川 (キリン) }	—	{ 土性 (電機) }
	{ 小林 (キリン) }		{ 森 (電機) }
13.	{ 武藤 (信託) }	—	{ 鍵田 (電機) }
	{ 神田 (信託) }		{ 高山 (電機) }
14.	{ 安西 (製鋼) }	—	{ 廣田 (重工) }
	{ 磯山 (製鋼) }		{ 高尾 (重工) }
15.	{ 黒井 (自動車) }	—	{ 伊藤 (重工) }
	{ 小野 (自動車) }		{ 安間 (重工) }
16.	{ 佐藤 (化工機) }	—	{ 茶山 (電機) }
	{ 菅原 (化工機) }		{ 輿石 (電機) }

<女子ダブルス>

	東 軍		西 軍
1.	{ 美寿見 (電機) }	—	{ 加藤 (銀行) }
	{ 橘田 (電機) }		{ 尾崎 (銀行) }
2.	{ 野中 (生命) }	—	{ 香山 (電機) }
	{ 三橋 (生命) }		{ 川内 (電機) }
3.	{ 大野 (商事) }	—	{ 渡辺 (電機) }
	{ 岡田 (商事) }		{ 布目 (電機) }

<特別試合>

男子ダブルス

{ } — { }

女子シングルス

{ } — { }

{ } — { }

第1日 (10月24日) コート時間割

海 上 コ ー ト								
時間	コートNo.	1	2	3	4	5	6	
10:00		140才 (1回戦)			120才 (1回戦)			
10:45		①	②	③	①	②	③	
11:30		140才 (2回戦)			120才 (1回戦)			
12:15		④	⑦	⑧	⑨	④	⑤	
13:00		140才 (2回戦)			懇親 試合			
13:45		⑤	⑥	⑩				⑭
14:30		140才 (2回戦)		120才 (1回戦)				
15:15		⑪	⑫	⑥				⑦
		140才 (2回戦)		120才 (1回戦)				
		⑬	⑮	⑧				⑨
		140才 (2回戦)		120才 (1回戦)				
		⑯	⑰	⑩	⑪			
		140才 (2回戦)						
		⑱	⑲					

第2日 (10月25日) コート時間割

銀 行 コ ー ト				海 上 コ ー ト													
時間	コートNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
9:00		140才 (3回戦)								/							
9:45		⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗								
10:30		120才 (2回戦)				120才 (3回戦)											
11:15		⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲								
12:00		H. I. 盃 (1回戦)				女子シングルス (1回戦)											
12:45		①	②	③	④	①	②	③	④					男子ダブルス (ブロック別)			
13:30		女子ダブルス (予選リーグ)				男子ダブルス (ブロック別)								男子ダブルス (ブロック別)			
14:15		A①	A②	B①	B②	B①	D①	E①	F①					A②	C②	G②	H②
15:00		女子ダブルス (予選リーグ)				男子ダブルス (ブロック別)								男子ダブルス (ブロック別)			
15:45		A③	A④	B③	B④	B②	D②	E②	F②					A③	C③	G③	H③
		女子ダブルス (予選リーグ)				男子ダブルス (ブロック別)											
		A⑤	A⑥	B⑤	B⑥	B③	D③	E③	F③								
		フリーコート *希望者は当日、会場でサインナップ願います。															

第3日（10月26日）コート時間割

	銀行コート								郵船コート						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5		
8:30	開会式（原則、必ずご参加ください）														
9:00	H. I. 盃 (SF)		女子 シングルス (SF)		男子ダブルス (1回戦)				/						
:30	⑤	⑥	⑤	⑥	①	②	③	④							
10:00					女子 ダブルス (SF)		140才 (SF)		東西対抗 男子						
:30					①	②	③②	③③	2	4	6	8	9		
11:00							120才 (SF)		東西対抗 男子		東西対抗 女子				
:30							④	⑤	10	12	1	2	3		
12:00	140才 (F)	男子 ダブルス(SF)		⑤	⑥	特別 試合	女子 S	女子 S	東西 男子		東西対抗 男子				
:30	/					H. I. 盃 (F)	女子 S (F)	女子 D (F)	120才 (F)	男子	コンソ 1R①	コンソ 1R②	3	13	14
13:00			東西対抗 男子								/				
:30									男子 D (F)	1					
14:00									/						
:30	15														
15:00	/												懇親試合		
:30															
16:00	【バス利用】16:30銀行コート→吉祥寺→17:10吉祥寺第一ホテル 16:40銀行コート→17:00吉祥寺第一ホテル 16:50銀行コート→17:10吉祥寺第一ホテル														
:30															
17:30	懇親会 (吉祥寺第一ホテル)														
19:00	/														

○注意事項

1. 出場選手は、必ず開会式にご参加ください。
但し、東西対抗選手等で当日移動の方は、除きます。
2. 練習時間は、H.I.盃、女子シングルスが5分以内、その他が3分以内としますので厳守ください。
3. 進行は、本部横に掲示されますので、前広にご確認ください。
天候、進行、その他やむを得ない事由により、コート割・時間割を変更することがあります。
4. 大会役員の方は、11:30から銀行コートのクラブハウス2Fにて昼食会を行います。
H.I.盃、女子シングルス出場選手は、選手紹介を行いますのでご参集ください。
5. 懇親試合をご希望の方は、銀行コートまたは海上コートの大会運営本部へ申出ください。
但し、コート事情によりご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください。

大会会場案内図（２）

《日本郵船飛田給コート》

調布市飛田給 1-54-1

（飛田給駅下車徒歩約5分）

TEL. 0424-82-3152

●10月26日（日）

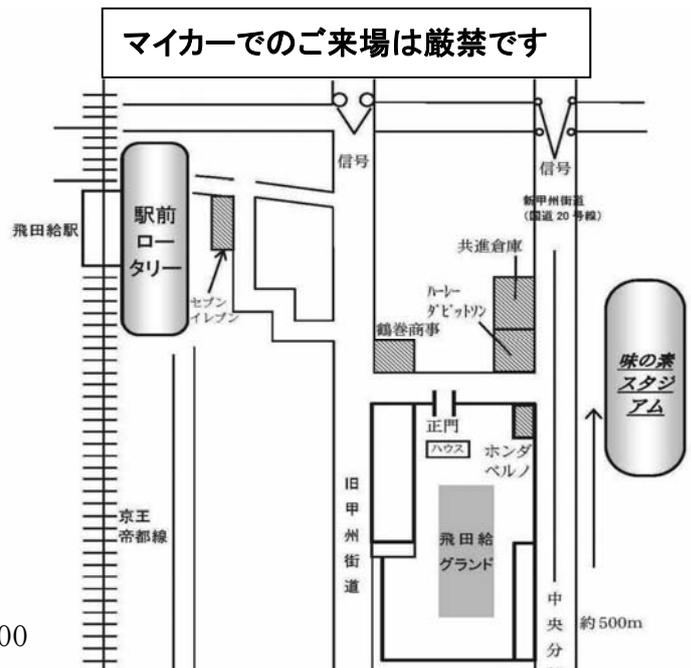
＜銀行コート⇄郵船コート間の連絡バス＞

郵船コートの方は、銀行コートでの開会式ご参加後に、銀行コート発のバスでご移動ください。所要時間は、約30分です。

【時刻表（マイクロバス）】

◇銀行発 9:00, 10:00, 11:00, 12:00

◇郵船発 10:00, 11:30, 12:00, 13:00, 14:00



《東京海上日動多摩総合グランド》

八王子市別所 2-57

TEL 0426-77-8619

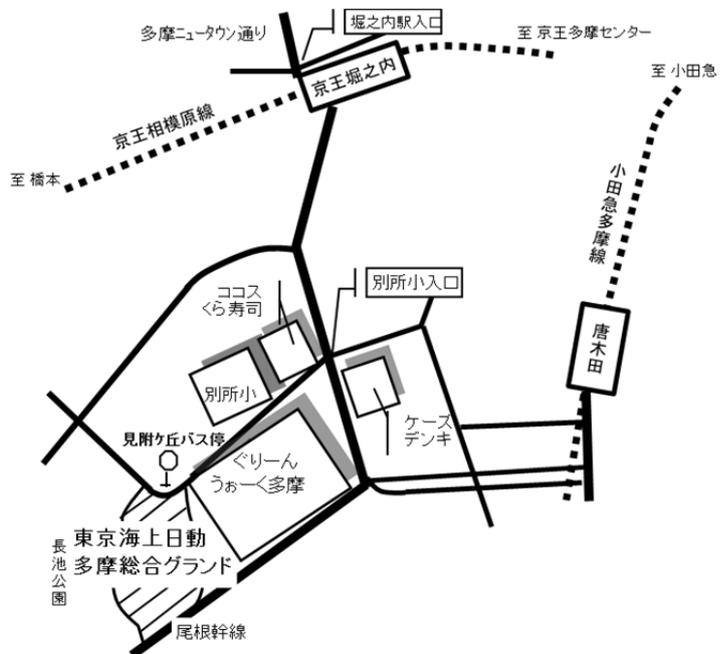
① 京王相模原線

「京王堀之内」駅よりバス
「見附橋循環」のりば④番
にて「見附ヶ丘」下車

② 京王相模原線

「京王堀之内」駅
または小田急多摩線
「唐木田」駅より
タクシー利用

**第1日目のみマイカーでご来場
できます**



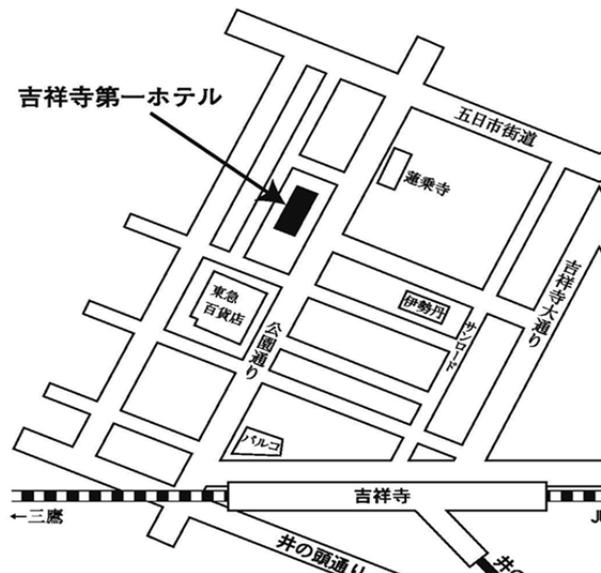
懇親会会場案内図

（吉祥寺第一ホテル 天平の間）

TEL. 0422-21-4411

地下駐車場は、大会役員、来賓のみ
利用できます。

1F 玄関前は混雑しますので、19:00
懇親会閉会後は速やかに移動願います。



岩崎彦彌太様は大正11年10月ロンドンに御外遊のみぎり三菱倶楽部庭球部に、銀製カップを寄贈されたので、戸外運動部担当幹事荘田達弥氏は直ちに打合会を行った。

同会合には庭球部長老、河手捨二氏、山岸慶之助氏、谷田友治氏、倶楽部総務部担当幹事小木植氏、その他庭球部諸先輩並びに各社戸外運動部庭球委員等、総勢約40名に及んだ。

荘田担当幹事からカップの披露があり、引続き打合会を開いた。

【打合せ事項】

1. カップの名称 HI ロンドンカップとす。
2. カップの用途 全日本三菱硬式庭球シングルス試合を行いこの優勝者に授与する。本盃には氏名を刻み副盃を贈呈する。
3. 試合の名称 HI ロンドンカップ戦
4. 試合の運営 三菱庭球同好会を設立し同会にて運営する。
5. 同好会委員（荘田担当幹事より指名）向井輝志、桑原芳雄、大淵鉄太郎
6. HI ロンドンカップ戦 第1回は大正12年東京にて開催の事、同時に委員長は河手捨二氏と決定。



HI 盃

註 HI ロンドンカップはその後単にHI カップというようになった。

三委員は同席上において、基金募集の相談をし、直ちに各自の帽子を持ち回り席上を一周し、応分の寄附金をこの帽子の中に入れてもらった。これは庭球同好会最初の基金である。

その後関係者は、数回会合打合せの上、HI カップ庭球試合の規定を下記の通り定めた。（略）

以上の規定が出来たので河手委員長より規定書同封の上大正12年7月29日、30日の両日染井コートにおいて第1回HI カップ戦並びに第8回関東関西戦を行う旨各地区に招請状を発送した。

大正12年7月29日、30日の連休を利用した第1回HI カップ戦は、河手委員長の下に、染井コートにおいて全国より選抜された選手8名によって関東関西戦と並行して行われた。

北海道1名、関東2名 榎原覚、桑原芳雄、中京1名、京阪1名、神戸1名、
関門若1名 岩永侃爾、長崎1名

この輝ける栄冠を獲得した最初の選手は、関門若地方より選出された岩永侃爾選手であった。第1回HI カップ戦終了後、次回は神戸において開催することに決定したので、同好会委員は、これに処するため、数次打合せをなし、同好会規定を定め、同時に名簿を作成し今後におけるHI カップ戦の運営に当ることとした。

爾後、会を重ねること20回、昭和17年を最後として、関東、関西戦と共に、一応幕を閉じることとなった。

（『三菱庭球の歩み』復活50周年記念誌より）

「HI 盃 NAVI」のコーナーでは、HI 盃に纏わるエピソードをこれから毎年シリーズでご紹介してまいります。